



名称	羽倉の御講仏様
よみがな	はぐらのおこうぶつさま
指定	市指定
種別	無形民俗文化財
種類	民俗芸能
所在地	久井町羽倉
所有者	羽倉区
指定年月日	昭和 58 年(1983)2 月 22 日
公開状況	原則非公開
交通案内	JR三原駅から北へ約 18km

【解説】

御講仏様(通称おこうぶつさん)は、江戸時代から、現在に至るまで伝統的に百有余年間継続してきている羽倉地区民衆の仏教信仰行事です。

羽倉地区では、江戸時代中期から谷御座が熱心に関催されていました。江戸時代末期頃からは、毎年春秋の2回、6地区の谷で順番に会場をもち、現在に至るまで地域の法会を催しています。

江戸時代末期頃、このような地元同行衆の熱意と誠実さ永續性が、本願寺に聞こえるところとなり、京の本山に趣いて御尊号・御尊号趣意書・御印書趣意書・おきてなどの賞詞を拝領するまでに至りました。